国土地理院の
広報リーディング・プロジェクト

国土地理院総務部長
山本　健一

国土地理院の重要事項

- G(技術)
- K(広報)
- K(教育)

国土地理院の
広報の取組を
紹介

国土地理院の広報の取組

関係団体との協議

2015年12月～

広報推進協議会

産学官の測量関係者が連携

有識者からの意見

2016年3月～

「国土を測る」意義と役割を考える懇話会

測量の意義と役割を国民に広く適切に伝える

国土地理院独自の広報

2015年11月

国土地理院広報戦略

リーディング・プロジェクト

国土地理院

沿革

147年の伝統

明治２(1869)年 民部官　　国土交通省

将来へつなげる

時間

体制

つくば＋全国10組織 **成果と技術を全国に波及**

空間

広報戦略

はかる、えがく、まもる

国土地理院の役割 が国民に伝わるよう

職員一人ひとりが広報パーソン

人間

時

空

人

リーディング・プロジェクトを選定

広報戦略に基づく
リーディング・プロジェクトの推進

時間

1. G(技術)・K(広報)・K(教育) プロジェクト

空間

2. ストック有効活用プロジェクト

人間

3. 基盤プロジェクト

時間

1. G(技術)・K(広報)・K(教育) プロジェクト

広報･教育両面から将来の技術者づくり

◆インターンシップの開催

- 学(測量･地図関連分野の学会)･産(測量関係団体)・官　の連携
- 地図と測量の科学館でサマースクールを開催

技術系職場体験実習生（インターンシップ）募集のお知らせ

国土地理院では、技術系の大学等に在籍する学生を対象として、国土地理院における実際の業務に接することにより、学生の皆さんの学習意欲の喚起及び職業意識の啓発に資することを目的として、下記のとおりインターンシップ実習生の受入を実施します。**昨年よりも多くのメニュー、受入人数を設定**していますので、奮ってお申込ください。

対象者

大学、大学院、短期大学及び高等専門学校に在籍する学生
※ただし、高等専門学校生のうち、1年生から3年生は除く。

国土地理院HPより

国土地理院

◆ 電子基準点を設置している学校への出前授業

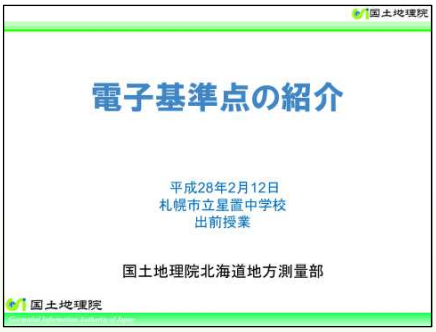
全国**1,300**の電子基準点のうち**600**が学校内

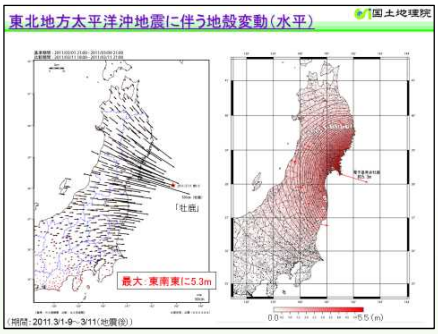
学校へ行こう

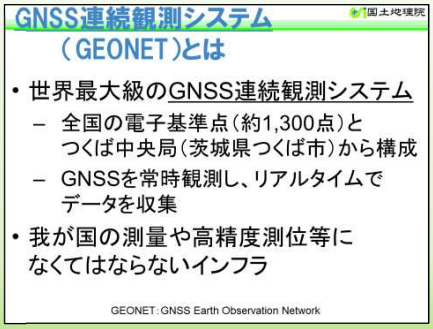
電子基準点：札幌市立星置中学校

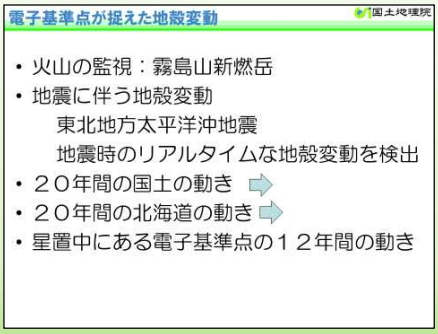
児童生徒･教師に、
電子基準点の役割や
測量の大切さを
伝える授業

取組例









空間

2. ストック有効活用プロジェクト

国土地理院の組織、
施設等を積極活用

（日本列島空中散策マップ）

◆ 地図と測量の科学館の積極活用

地図・測量の役割を楽しみながら体験できる場としての充実

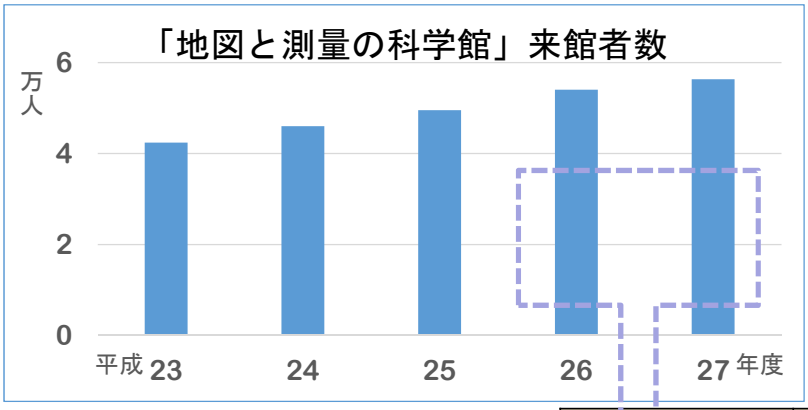
地理･防災教育の場として利活用

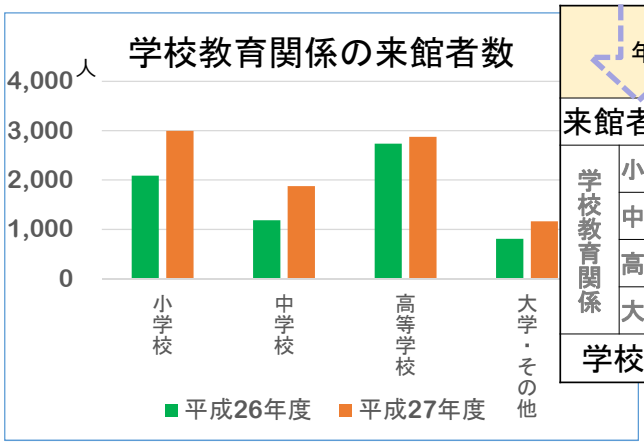
我が国では初めての地図と測量に関する展示施設
小学校・中学校・高校・大学からの来館者も増加

◆ 地元と連携した広報

全国　地方測量部ごとに地元自治体･教育機関と連携

つくば　本院（つくば）は、石岡測地観測局（VLBIアンテナ）を教育の場として活用





学校教育関係が
９割

年度		平成26年度	平成27年度	増加数
来館者数		54,026	56,370	2,344
学校教育関係	小学校	2,087	2,995	908
	中学校	1,185	1,877	692
	高等学校	2,736	2,875	139
	大学・その他	807	1,162	355
学校教育関係		6,815	8,909	2,094

人間

3. 基盤プロジェクト

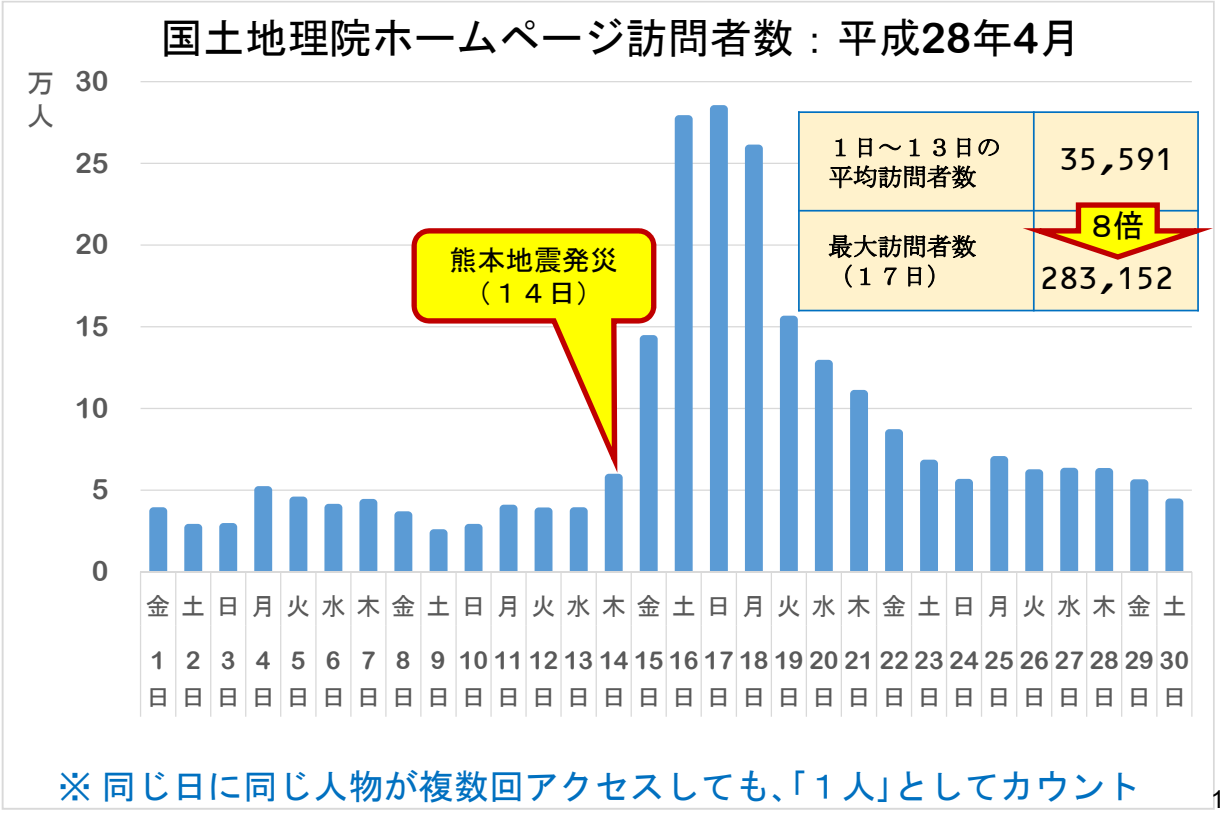
職員の能力を高め共通認識のもとで広報

◆ アピールポイントをまとめた資料を活用

- 国土地理院の仕事のアピールポイントを
  ５分で説明できる資料
- 幹部を中心に職員全員が積極的に対外説明

◆ 広報パーソンの育成

- 職員のプレゼン能力の向上
- 中級レベル以上のプレゼンターの育成



※ 同じ日に同じ人物が複数回アクセスしても、「１人」としてカウント